

会津「き」組・絆プロジェクト

「うちにかえろう」・・・移設・再生可能な木組の家

わたしたちは、3.11 大震災で多くの人と家を失いました。さらに原発事故によって、美しい故郷に帰れない状況にあります。

この苦難を乗り越えるためには、明日への活力と生活の場を取り戻す必要があります。今こそ、わたしたちは、「住む」ということを深く考えなければならないと思います。この絆プロジェクトは、家を失くした方や、避難を余儀なくされている方への、新しい生活の場としての活力を生む「住まい」を提供することが目的です。

わたしたちは、丈夫な架構と経済的な仕組みを持った地元の人たちがつくる供給体制のもと、将来、故郷に帰ることを配慮した、組んでは外した組み直すことができる、移築・再生可能な木組の家を提案します。

木組の家は、日本の伝統的な家づくりの技術を活かしながら、ふるさとの山を守る仕組みです。みんなで、力を合わせて、ふるさとのうちにかえりましょう。

I 概要

1. 会津にこだわって

役場機能が会津若松市に移転した大熊町をはじめ多くの原発周辺地域から移転されて来た方が会津地方の仮設住宅で避難生活をしています。多くの方が帰れるか帰れないかも不明のままです。しかし否応なく仮設住宅退去の日が来ます。雪の多い会津地方でその後も留まらざるをえない人たちのために国産材を使った手づくりの「き」組の家を私たちは提供したいと思います。「き」組の家は地元の山を守り、伝統技術を伝えながら将来の“ふくしま”を支える家づくりです。

私たちが確保できる見込みの大工職人の数はおおよそ60人です。会津を離れずに留まる、被災された人たちに寄り添っていきたくと思います。

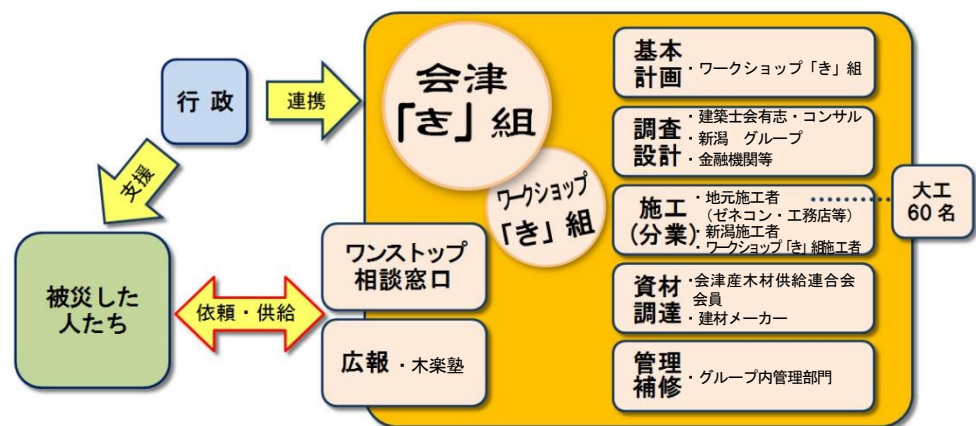
2. グループの概要

私たち「会津産木材供給連絡会」は、平成15年に結成され、木材資源の利活用のため活動してきました。グループ員は素材生産者から設計・施工者まで参加しており、平成21年には県の補助をえて、会津湯川村に「木楽塾」という100年スギ展示住宅を建設し、木材をふんだんに使用し伝統工法による建築の拡大を図ってきました。その際に指導いただいた一般社団法人ワークショップ「き」組に今回支援を頂くことになり、共同作業を行っていきます。

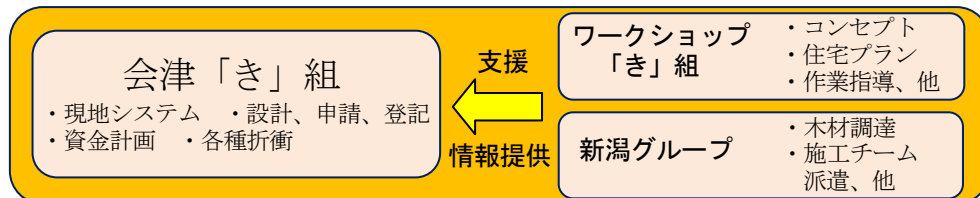
また、隣県で伝統工法に取り組む「越後にいきる家をつくる会」とも地域連携を図って事業を進めていきます。さらに、今回の取り組みでは新たに、地元ゼネコンの協力を求め、資金調達や労働力の確保、工事管理の側面から力強い支援を受けています。引き渡し後のメンテナンスには、管理部門を強化し、工事履歴などの一元管理をして建て主へ安心を提供します。

II 供給体制の特徴

1. 組織図

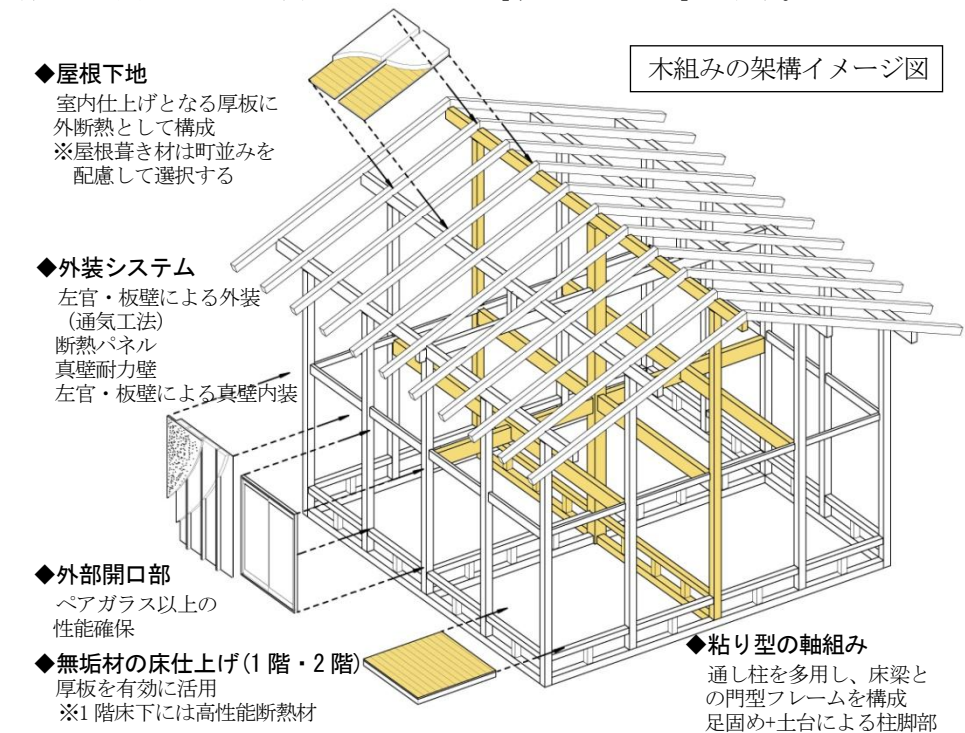


2. 支援関係

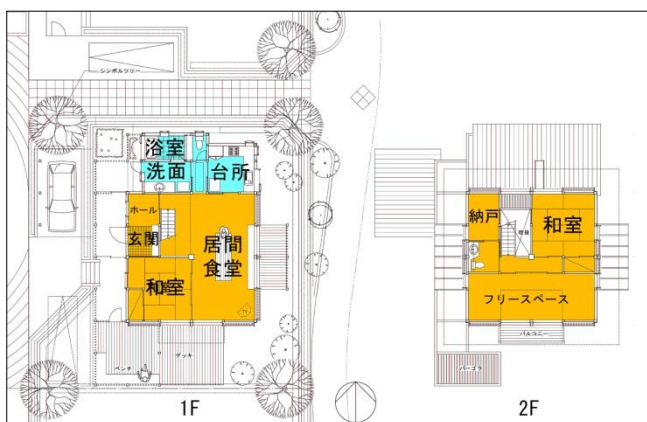


III 住宅のコンセプト

会津産の骨太の木材で組まれた長寿命で生活の変化に対応できる丈夫な主架構体。住まい手の多様なニーズにフレキシブルな対応を可能とする副架構体。二つの組み合わせで真壁づくりの木組の「いえづくり」、「まちづくり」を行う。



1. 「個」と「群」のいえづくり



定尺材を有効に利用できる4間角、3間×6間などを主屋（主架構体）と生活空間の広がりに対応する下屋（副架構体）との組み合わせにより多様な住まいの提案を可能にする。それらの家が「群」として集まり、まとまりのある「絆」を大切にした町並みを構成する。



2. 「き」組の特徴と提案

実践している木組みの架構をさらに整理した設計ルールと施工方法によって、工期短縮、コストの低減を図ります。

モデルの目標

- ・外周1間間隔の柱配置による架構形式のシステム化

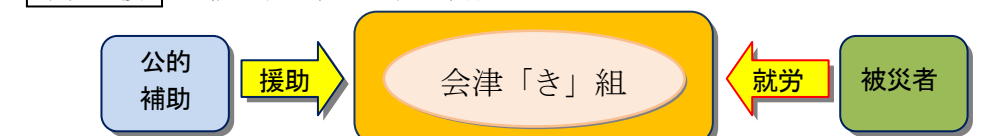
- ・通し柱を多用し、足固めを活用、胴差省略など伝統構法に学ぶ整理された架構形式
- ・規格寸法材を活用し、主要部材断面は大きく、部材種別は少量化を図り、施工法の省力化を図る。
- ・手刻みとセミプレカット併用による作業の効率化、品質の確保

3. コンセプトの説明

- 長期利用
 - ・耐震性の確保、劣化等級3を確保する。
 - ・4間四方のプランで規格材を使用し、増改築に容易に対応できる。
 - ・管理部門で一元管理し修繕維持に対応する。
- 将来成長
 - ・主架構体と多様なニーズに対応できる副架構体で構成し生活の変化に対応する。
 - ・組んでは外した組み直す、移築再生可能な家は、将来ふるさとに帰ることに思いを繋ぐ。
- 環境対応
 - ・地域区分Ⅱ、Ⅲ地区に該当し、省エネ等級4を満たす仕様とする。
 - ・屋根・外壁は通気工法を採用し外張り断熱とする。
 - ・放射線量の測定により安全を確保し、安心を提供する。
- 価値
 - ・墨付け、刻みと現場組み立ての分業化により作業の効率化しコストを削減する。
 - ・規格材の寸法による架構計画。
 - ・建材やサッシ、衛生機器などの資材購入先を一元化しコスト削減を図る。
- 地域適合
 - ・雪国会津にふさわしい軒の深い外観とする。
 - ・会津産の木材を中心に地域材を使い地産地消に努める。
- 需要対応
 - ・会津産木材供給連絡会の100年スギ住宅部会を中心として、地元企業に幅広い連携を作る。
 - ・ワークショップ「き」組や「越後」グループとの連携で、将来をみすえた建設・供給体制を構築し、住まい手のニーズへの対応強化に努める。

IV 供給能力・供給計画

人	… 地元大工 60名確保
	[グループ編成] 3人/チーム → 20チームを構成
	[作業量] 年間 60坪/人 → 3,600坪 → 120棟
	[3年間の供給量] 10,800坪 → 360棟
材	… 地元材の確保
	[木材の需要] 3,600立米/年
	会津産材を中心に、不足分は近隣提携先の新潟産材などにより需要対応。
就労支援	… 被災者の雇用の場を確保



ワンストップサービス窓口の充実

窓口業務は、初期の相談から計画、工事、竣工、メンテナンス等の情報を一元的に管理する。グループ員の代表設計事務所が担う。

V 建設コスト (外構、屋外設備、特殊基礎は除く)

- 基本コスト 平屋4間四方 …16坪の建設単価を50万/坪とする。
- 同一階への増築 水廻り …60万/坪
- 〃 水廻り以外…50万/坪
- 2階への増築 外周壁、屋根は4間4方の総2階の立体で造る床面積参入部分…50万/坪
床未施工部分 …25万/坪

- 16坪×50万=800万
- 16坪×50万+2坪×60万=920万
- 16坪×50万+2坪×50万=900万
- 1階 16坪×50万=800万
2階 8坪×50万+8坪×25万=600万
計 1,400万

